

豊橋文化

vol.45

隔月発行

2022.8.15

【発行所】(公財)豊橋文化振興財団(PLAT内)
【連絡先】豊橋市西小田原町123
TEL (0532) 39-5211 FAX (0532) 55-8192

梅雨明けしたと思ったらまた梅雨のような雨が続き、晴れた!と思ったらまた雨が続き…少し変わった6、7月でしたね。さて、今号では秋の催し物をたくさん紹介します! 読んでくださっている時はまだ暑いと思いますが、少しずつ涼しくなっていく季節に、ぜひ文化を楽しんでみませんか?

2022 豊橋文化祭 文化祭開会式典を開催します。

10月、11月は豊橋文化祭月間として、いけばな展や音楽連盟コンサートなど様々な行事が行われます。豊橋市及び豊橋文化振興財団では、その幕開けとして9月24日(土)に開会式典と記念公演を行います。記念公演では、一昨年度に豊橋文化奨励賞を受賞された鈴木直己さんによるコンサートを行います。ぜひ、ご来場ください。

とき ● 令和4年9月24日(土) 14時開式 ところ ● 豊橋市民文化会館ホール

- ▶ オープニング演奏 / 箏曲 加藤信子社中による箏曲の演奏
- ▶ 表彰 / 豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞、地域文化振興活動功労賞、郷土文芸作品
- ▶ 記念公演 / 鈴木直己『のぞいてみよう! 作曲家のお仕事』 ▶ 入場料 / 無料(要・整理券)
- ▶ 要整理券 / 9月1日(木)から豊橋市役所「文化のまち」づくり課、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場1階窓口にて配布します。
- ▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211

第49回豊橋市民お月見会

感染症対策を実施した上で、今年度は例年通りの形で開催いたします。昨年・一昨年に引き続き、コロナ禍でのお月見会となりますが、どんな月が今年は見られるでしょうか。

「月」をテーマにした川柳・俳句・短歌を作ります。入選作は後日表彰し作品集に掲載します。

とき ● 令和4年9月10日(土) 17時~ 20時
ところ ● 三の丸会館(豊橋公園内)

- ▶ 部門 / 川柳の部、俳句の部、短歌の部
- ▶ 投稿票 / 三の丸会館、市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で配布
- ▶ 投稿期間 / 9月10日[土] ~ 9月16日[金]

▶ 投稿方法 / 期間中、投稿箱を三の丸会館内に設置します。期間内に詠まれた作品を投稿箱にお入れいただくか、官製ハガキで郵送してください。三の丸会館現地読みでなくても可。

※今年度は立礼茶席の延長営業はありません。

▶ 箏曲の生演奏 / 当日は琴風会による箏曲のミニ演奏会を行います。しばし箏の音色に心と体をゆだねてみてはいかがでしょうか?

【昨年特選作品ご紹介】

(川柳) 月あかり受けて米寿の一人酒	竹本カヲル
(俳句) お座りもあんよも出来て月の客	小林秋鳳
(短歌) 姨捨と言う名の駅に月待てど雨の鉄路はただ雨はこぼ	戸田恵子

秋の市民茶会について

秋の市民茶会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大にともない、開催の有無や実施方法について現在検討中です。

豊橋総合いけばな展のご案内

豊橋華道連盟の9流派による合同いけばな展です。出色の作品群をどうぞお楽しみください。

とき ● 令和4年10月15日(土)~16日(日) 10時~16時
ところ ● 豊橋市民文化会館2階展示室

- ▶ 出瓶団体 / 小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生流、嵯峨御流、華道家元池坊豊橋(順不同)
- ▶ 入場料 / 無料
- ▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



第64回豊橋邦楽大会を開催します。

【民謡・大正琴・三味線の部】 箏曲・長唄・尺八・小唄の部
▶ とき / 10月29日(土) ▶ ところ / 豊橋市民文化会館

【民謡・新舞踊の部】
▶ とき / 10月30日(日) ▶ ところ / 豊橋市民文化会館

【日本舞踊の部】
▶ とき / 11月6日(日)
▶ ところ / 穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール

【詩吟・吟剣詩舞の部】
▶ とき / 11月20日(日) ▶ ところ / 豊橋市民文化会館

第50回ペン書道展に寄せて

令和4年6月28日(火)から7月3日(日)まで、豊橋文化振興財団主催のペン書道展が豊橋市民文化会館にて開催されました。

豊橋市内でペン習字教室を開いて指導されている先生方や、生徒さんの作品、又一般の方々からも募集しました。今回は50回を記念いたしまして、昔(旧名は硬筆書芸展)に携わってくださった作家の先生方の作品も提示させていただきました。ペン字は日常生活に密着し、最も実用的なものです。正しい文字を正しい書体で美しく表現できるよう、日々精進しております。



現代では機械化が進んで、手書きの文字を書く機会が少なくなってきました。

先の諸先生方が築いてこられた、ぬくもりのある文字を絶やさない、さらに高みをめざして、一人でも多くの皆様に参加していただきたいと願っております。



県文連東三河部芸能大会を開催しました。

令和4年7月10日(日)、田原文化会館にて毎年恒例の県文連東三河部芸能大会が開催されました。豊橋からは伊藤民謡会の皆様にご出演いただきました。今年も昨年に続き、コロナ禍での開催となりましたが、来賓に愛知県知事等もお迎えするなか、東三河の文化協会から合唱やフラダンスなど10団体が出演し、日ごろの練習の成果とともに、来場者を楽しませました。豊橋からの出演である伊藤民謡会は、コロナ禍ということもあり少数精鋭のベテラン勢のみの参加でしたが、ベテランならではの艶のある歌声を披露されました。伊藤陽扇代表は、渥美地方でも唄われることの少なくなった「渥美地方の子守唄」を披露され、終了後に歌詞を請われる一幕もありました。ご出演ありがとうございました。



理事長就任あいさつ

理事長 高須 博久

この度、公益財団法人豊橋文化振興財団の理事長を拝命いたしました高須博久と申します。皆様のご支援をいただき、ともに協力しながら、地域の文化振興に全力で取り組んでまいりたいと考えています。何とぞよろしくお願い申し上げます。



さて、よく言われますように当財団は、戦後まもなく発足した豊橋文化協会を起源とします。衣食住すら不足し、まして将来の展望も定かでない時に、文化の再建なくして敗戦後の日本の活路はあり得ないと考え行動した当時の人々の想いが今も私たちの原点となっています。

平成13年に豊橋市の出捐を得て財団法人豊橋文化振興財団が設立されて以来、鑑賞事業の拡大を図り、近年は公的助成金や特別賛助会員をはじめとする維持会員の皆様からのご支援を受け、人材育成や教育普及事業の拡大にも力を入れてきました。

その一方、地域に根差した様々な文化団体の皆様も、各々の分野で精力的に活動することは、地域の文化振興が目指すべき一つの姿ですが、文化団体の皆様の高齢化や新型コロナウイルスの影響等により活動が停滞するなどの課題があると認識しています。

人生100年時代を迎え、価値観が多様化し、テクノロジーも飛躍的に進化した今、文化・芸術に触れ合い、あるいは自らが表現し発信することは、一人一人の人生をより豊かなものとするとともに、地域社会を活気あるものへと変えていく原動力となります。そして、その礎となるのは、やはり地域に根差して活動される文化団体の皆様であります。

就任にあたり、私は文化団体の皆様とともに地域の文化活動を盛り上げ、豊かな市民社会の実現へ向け、微力ながらその使命を果たすべく努力する所存です。前任者同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



函館港 Hakodate,
2021/06/26-07:54

Just in a Journey,
Hokkaido 2021 より

写真家・田中 歩

NHK文化センター名古屋教室 / 豊橋教室講師

今号の
一枚

VOL.4 プチ旅 はっぴいえんど

芥路朱音

2018年の夏、「ふじのみやまちなかアートギャラリー」の帰り道…焼津から国道150号線を海岸沿いに南下して、御前崎へ足を延ばした。

ここには「浜岡原子力発電所」がある。東海地震の予想震源域の中程にあり、活断層が直下にあるという説まで発表され、耐震性の不足が懸念されるなど物議を醸していた。

中部電力は、東日本大震災の教訓から、津波対策として、標高22m・長さ1.6kmの防潮堤を建設した。1号機と2号機は2009年1月30日に運転を終了しており、廃止措置中だ。2015年2月には燃料の搬出が完了しており、現在原子炉領域周辺設備の解体中だ。3号機、4号機は安全性向上対策を実施中であり、「新規規制基準への適合性確認審査」がおこなわれている。5号機も安全性向上対策実施中、海水流入事象への対応中となっているのが現状だ…「浜岡原子力発電所」の全号機が停止してから10年以上が経過した。また昨年8月には、5号機のタービン建屋で空調設備の故障が原因による発煙があったが、けが人もなく外部への放射能漏れもなかったという。

観光名所「御前埼灯台」横の展望所へ。突然、開けた視界に広がる太平洋から風が吹き抜けた…海原が眩しい。何故か、「はっぴいえんど」の楽曲「風をあつめて」のサビの歌詞とメロディーが脳裏を駆け巡っていた。

この曲を初めて聴いたのは、高校1年の時だった。1971年7月、浜名湖のレジャーランドが新しくなるというので、先輩のバイクの後ろにまたがり、「バルバル」に出かけた。オープン前だったが、会場内には何のチェックもなく、すんなり入ることができた。ホールには小さなステージがあり、長髪4人組のバンドがリハーサルを行っていた。

ロックを日本語で歌う少し風変わりなグループの練習をしばらく二人で見学した。随分後になって、これが大滝詠一(vo.g)、鈴木茂(g)、細野晴臣(b)、松本隆(ds)を擁する伝説的グループ「はっぴいえんど」だということがわかった。夕刻に開場されると、多くのファンが詰めかけ、本番が大音量で始まった。どうやら京都府立労働会館とヤマハホール(名古屋)での公演のあいだに「バルバル」に立ち寄ったようだが、彼らの貴重な歌と演奏を間近に聴けたのは、貴重な体験となった。

さて、今年の夏休みは「掛川市二の丸美術館」を経由し、ライダーに一番人気「カレーショップ・きしばた」の名物「ドラカツ」で昼食。「静岡県立美術館」にて「兵馬俑と古代中国」展を鑑賞後、由比の民宿「玉鈴」に泊りして「桜海老かき揚げ天丼」を堪能。2日目は終日「ふじのみやまちなかアートギャラリー」を巡り、夜は「駿河健康ランド」で旅の疲れを癒した。3日目は島田で「朝ラー」を体験し、「遠州七不思議」にノミネートされる「子生れ石」を拝み、4年ぶりに最終目的地「御前埼灯台」へ辿り着いた。



きしばた名物(ドラカツ)



志田地区の食文化「朝ラー」



(子生れ石)の祠

催し物スケジュール 9月～10月



豊橋文化 2022年8月発行

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

※この予定表は予告なく変更する場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

9月	第789回邦楽鑑賞会 2日(金) 時間●14時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体による披露
	茶道クラブ月例茶会 ※事前予約制 4日(日) 時間●10時～15時20分 場所●三の丸会館 会費●一般600円 会員500円 担当●松尾流
	裏千家六日会月釜 6日(火) 時間●10時～ 場所●三の丸会館 会費●800円(一般参加可) 担当●廣田宗桂
	豊橋市民お月見会 10日(土) 時間●17時～20時 場所●三の丸会館 部門●川柳の部、俳句の部、短歌の部 花の輪・人の輪 みんなの花展 豊橋支部～季(とき)を奏でる～PARTⅢ……………11日(日)まで 時間●10日:10時～17時 11日:10時～16時30分 場所●CAFÉ&GALERIEちろる庵 入場料●無料 内容●小原流の会員による花展
	K☆STAR Dance Studio Show Case vol.6 11日(日) 時間●14時～17時 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール 入場料●2,000円 内容●地元ダンサーと東京プロダンサーによるジャズダンス公演
	中嶋俊晴×谷川賢作デュオコンサート むすぶ声、はざまの歌～谷川俊太郎をうたう～ 16日(金) 時間●18時30分開演(18時開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 創造活動室A 入場料●一般3,000円 学生2,000円(当日は各500円増)
	第55回東三民踊まつり 時間●11時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール 入場料●無料 内容●民踊発表
	金井ゆかり&野畑さおり 二台ピアノの饗宴 VOL.2 18日(日) 時間●14時30分～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●一般2,000円 小中高生1,000円 (いずれも当日500円増) 曲目●モーツァルト オペラ「魔笛」序曲、ホルスト 組曲「惑星」よりジュピター ほか
	第28回東三河カラオケ選手権大会 時間●9時～ 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●東三河カラオケ連合会会員によるカラオケのコンクールと発表会
	豊橋文化祭開会式典 24日(土) 時間●14時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料(要整理券) 内容●豊橋文化賞・豊橋文化奨励賞の表彰式など
	第44回豊橋文化祭誌上川柳大会 ………………11月30日(水)まで 場所●豊橋市草間町字郷裏86-2 彦坂石転宅を投句受付住所とする 参加費●1,000円
	伝統文化こども発表会 25日(日) 時間●12時30分～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体のこどもによる発表会
	はじめてのお能体験【参加無料】 時間●14時～16時 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●090-7048-3531(内藤) hoshoryu.hiunkai@gmail.com
	第54回表装美術展 ………………10月2日(日)まで 28日(水) 時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●表装作品(掛軸・屏風・額など)の展示

10月	吟剣詩舞道大会 2日(日) 時間●10時開演(9時開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●豊橋市内6流派250名による詩吟・剣舞・詩舞の発表
	令和4年度 第52回豊舞連舞踊フェスティバル 時間●10時30分開演(10時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●豊舞連による舞踊発表会
	第47回作陶展 ………………9日(日)まで 4日(火) 時間●9時～17時(初日は11時から、最終日は16時まで) 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●出品者約30名、出品点数約80点の展示会
	第19回東三河童謡唱歌のつどい 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料
	第790回邦楽鑑賞会 7日(金) 時間●17時30分～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体による披露

	豊橋おやこ劇場 第475回(高学年部)中高青例会「眠っているウサギ」 8日(土) 時間●19時開演(18時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●3,300円(小3以下入場不可) 内容●一般社団法人劇団コロによる「眠っているウサギ」の公演
	舞踊龍城流舞踊発表会 時間●11時30分開演(11時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●舞踊龍城流による舞踊発表会
	第38回豊橋技術科学大学吹奏楽団定期演奏会 9日(日) 時間●14時開演(13時30分開場) 場所●ライブポートとよはし 入場料●無料 曲目●「エンターテイメントマーチ」「ハイライトフロムチェス」ほか
	グローリアコンサート No.2 時間●14時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●一般3,000円 高校生以下1,500円 内容●Soprano 田辺菜美子 Tenor アンザン Bariton 李宗潤 によるイタリア歌曲など
	薩摩琵琶演奏会「錦秋の調べ」 時間●12時30分開演(12時開場) 場所●豊橋文化会館ホール 入場料●無料 内容●錦心流琵琶全国一水会豊橋支部会員による琵琶演奏
	映画「二宮金次郎」上映会 10日(月祝) 時間●第一回上映 10時(開場9時30分)、第二回上映 14時(開場13時30分)、第三回上映 17時30分(開演17時) 場所●豊橋市公会堂 入場料●1,000円
	豊橋総合いけばな展 ………………16日(日)まで 15日(土) 時間●10時～16時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●市内9流派による合同花展
	サボテン展 ………………16日(日)まで 時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館第3会議室 入場料●無料 内容●サボテンの展示
	はじめてのお能体験【参加無料】 16日(日) 時間●14時～16時 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●090-7048-3531(内藤) hoshoryu.hiunkai@gmail.com
	本多正樹コンサート 時間●17時開演(16時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●2,500円(当日3,000円) ※全席自由 内容●第一部 松山千春カバー、第二部 本多正樹オリジナル
	水曜短歌会 19日(水) 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
	花柳こども舞踊教室発表会 ………………23日(日)まで 22日(土) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料
	全日本剣詩舞道連盟 結成70周年記念 全国剣詩舞道大会 23日(日) 時間●10時～ 場所●ライブポートとよはし 入場料●無料 内容●全国各地の全日本剣詩舞道連盟加盟会員の剣詩舞の発表
	日曜短歌会 時間●13時～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
	第47回歌謡アカデミー発表会 時間●8時50分開演(8時30分開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料
	第51回俳画展 ………………30日(日)まで 25日(火) 時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料
	チャールズ会豊橋展 ………………30日(日)まで 時間●9時～17時(最終日は16時まで) 場所●豊橋市民文化会館2階展示室
	第64回豊橋邦楽大会「民謡・大正琴・三味線の部」 29日(土) 時間●10時30分～ 場所●豊橋市民文化会館 入場料●1,000円
	第64回豊橋邦楽大会「民謡・新舞踊の部」 時間●11時～ 場所●豊橋市民文化会館 入場料●1,000円
	鯉廣リサイタル鯉廣会 時間●10時30分開演(10時開場) 場所●アイプラザとよはし 入場料●5,000円
	第31回吉田をどり 30日(日) 時間●13時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール 入場料●4,000円 内容●豊橋ゆかりの日本舞踊家による流派を超えた合同公演
	第53回合唱祭・第23回三遠南信文化交流「合唱の集い」 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●ライブポートとよはしコンサートホール 入場料●1,000円
	第23回チャリティー豊橋歌謡コンクール 時間●9時30分開演(9時開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料

文化短信

▼豊橋市民俳句会 第650回句会
二雨に日の匂ひ立つ麦の秋 大河美智子
山宿の荒れ放題や朴一華 佐藤英子
出沒や厨の暗がり蚊 篠田和代
老体に鞭を打ちつつ夏帽子 藤田源一
木洩日に青葉若葉の透き徹り 加藤美津子
なめくちやどをどううみしな 鳥居節子
梅雨寒し真夜中に飲む痛み止 河合澄子

▼豊橋市民俳句会 第651回句会
小言また言ひ泣みぬて泣雨扇 佐藤英子
夕立や女顔背な力車 加藤美津子
婦省子を見送る母や無人駅 高橋良子
しなやかに草に粉れて糸蜻蛉 鳥居節子
諸々の草も一息半夏雨 大河美智子
絵団扇の団十郎が目を刺さぬ 篠田和代
地層く信長塀や梅雨の宮 彦坂艶子
夕立にさつと切り上ぐ野良仕 藤田源一
走り梅雨斜めに渉る交差点 河合澄子

▼豊橋文化短歌会(令和四年) 六月水曜短歌会
微笑も苦笑ともつかぬ面差 しに山の地蔵は蟻通らざる 伊藤はつる
連日の泣き虫の空に伝えたい コプリーツスカート新調したの 伊藤はつる
手づくりのサンドイッチの二種 類を出してくれた娘(こ)母の日 ランチ 成瀬眞智子
補聴器の夫と会話の尖る日は こえもこももすれ違ひゆく 原田敬子
母の日の娘より届きし和菓子 丹羽智子
母の日の娘より届きし和菓子 丹羽智子
高々と古長靴は竹の先に鳥威 しとなり畑をすりぬ 岩瀬美子
満遍なく笑顔で応へる癖つきで 転動のない老後のさびし 室 澄子
麦の秋梅雨入り前が刈り取り とき他国の戦にハイパー米粉パン 西郷賢谷
早朝に(ツレ)ハムの花とよ花 ひらく丘の麓へ歩いてゆこう 夏目伊代子
父母がいて姉兄がいて祖父母がいて 大提灯ととり三谷祭の夜 長谷川公代
新緑の信濃の森にカッコーの啼 く声聴きつつ友と見上げる 河合美智子
恋ころ冷涙保存するやうに 若き日の日記またしましむおく 洲淵智子

六月日曜短歌会
ぶつかりて首になるまでじやれ 合へり海呼ぶやうな白山羊の 角 丹羽智子
上角なスポンをくれるわが夫 驚きました母の日でした 成瀬眞智子
フォークソングにひねもす浸り 過ぎ去りし「汚れちました哀しみ洗う」 岩瀬美子
人生のフルコースなら締めどき はいま御代わり自由のコーヒータイム 西郷賢谷
芍薬と赤きバラ咲くわが庭に 野の花少し植えてみようか 眞造富久代
ねえかあさんあの日のやうに 呼んでみる 夕陽すぼり母に 抱かざる 岡田宏子
浅間山は雲に隠れて見えぬど もシタナゲの花満開なりき 河合美智子
愛用のワープロ使ひ病床に歌詠 みし友燃え尽きて逝く 池田あつ子
喪のたびに胸に付けたる黒真珠 われの吹き聴きのしならむ 岡田美子
私を溶かして温(ぬく)き風に なり銃持つ人の指あたためたし 宇佐美幸枝
三人の男の子の子の世に「俺も俺も忘れていたり四人目の夫(こ)を」 伊藤はつる

七月日曜短歌会
店頭においしいと札 にんじんを スープにしよう煮物もつろ 成瀬眞智子
喉のいろ薄き燕のいじらしき主 夫初心者はカレーを焦がす 丹羽智子
どげどげと天辺に止まる嘴太 か鳥の世界も階級社会 西郷賢谷
おいしいを呪文のごとく百近き 母に言はれて日々料理する 池田あつ子

木漏れ日のゆるるべに将棋盤 囲みて老いが肩を寄せあふ 岡田美子
三本のきゅうりの苗から今朝 十本食べてくれぬか河童は何処に 伊藤はつる
寅と言ふ千支に生れし偶然に 八十四歳山月記読む 岡田宏子
隠れ家にアンネの吸ひし冷たくて 白き空気を吸ふふにも吸はず 宇佐美幸枝
夕(ゆ)々星(つ)つみつづ家路を 急ぐ 岩瀬美子
好物の焼イカとワイン買った 採り忘れ太く大きくなりし胡瓜(パプリカ)にしまった顔の涼しい 伊藤はつる
亀さんに学ぶ平和の真の意味 甲羅は九条戦争放棄 西郷賢谷
信号機の青を信じて道渡るさ れど彼の地の人道回廊 室 澄子
面を打つ乾いた音の見事に鼻 ピクピクか幼き剣士 藤井正子
用途とは真逆の季節になりました ホテイヤオイの火鉢に浮かぶ 内藤よし子
明け方にまどろみながら見し 笑顔幼日の子かまたまどろみ 夏目伊代子
ぬみ差し避け片陰伝ひてポスト まで欠席届けを重なる 中島タエ子
住人は生命を巧みに使い切り コボソソと軒家大自然の中 ひかえめにみしりと廊下鳴き 始め軋む古屋に歳月をみる 原田敬子
曇天の今日一日をやつと了ふ 亡き妹に会いひきたき 室 澄子
金色のソケイの花びら降り落ちて 地面に輝く星雲あつた 竹中寿美恵
結婚式に流れる映像みただね 輝きておりぬあたなたい 長谷川公代
きのふ十けさは十三朝顔が咲いて 眞夏のファンファーレ鳴る 洲淵智子

豊橋番傘川柳7月句会
大好きがいっぱいあるのの世 界 マイワールドあつて時々魔女になる 小柳津優子
化機迫るワールドさぼの温暖 サッカーのワールドカップ心待ち 佐藤英子
世界中に二つ作りの服宝物 川柳で人の世界を描きたす 波多野律子
宇宙から地球のクシャミで覗 戸沢はたる 池谷英子
と世界観人それぞれでもめるも グローバル旅行病や戦きもだめ 山口タカシ
しミステリーの世界かぼや 尾方静子
ない 寺部水川
頭鏡にワールドがある夢が 本多雅子
ハハからブーチン世界お騒が せ 須崎東山
性善説死後にはたかない世 夏の悪夢ワールドウォーにうな される

豊橋市表彰

豊橋市は、今年度の市勢功労者および教育、体育、文化表彰の対象者をそれぞれ発表しました。市勢功労者(文化振興の部)に鈴木省二さん、文化表彰では3名1団体が選ばれ、8月1日開催の市制施行日記念式典で表彰されました。

【市勢功労賞】市政に功労のあった方または市民福祉の増進に貢献された方を表彰する市勢功労者(文化振興の部)に次の方が選ばれました。

■鈴木省二さん
【文化振興賞】豊橋市の文化振興に尽くした次の3名1団体が選ばれました。

■亀山宗法さん、若端瑞与さん、吉村純さん、特定非営利活動法人ひとすじの会さん